

地域づくりに向けて

塩原 岡田地域づくりセンター長

おなかだ

いざという時まず
家族としてご近所常会へ



この4月から市内の35地区に「地域づくりセンター」が設置されました。岡田地区も出張所・公民館・福祉ひろばが一体となり、「岡田地区地域づくりセンター」として新たにスタートすることにいたしました。

設置の目的としては、超少子高齢型人口減少社会に対する今後の地域づくりについて、住民の皆さんと行政や関係機関と一緒に考え、地域の課題を解決して行こうというものです。

この岡田地区でも、今後さらに高齢化が進む中で生活弱者への支援体制や要援護者の見守り、災害時の助け合いが必要とされる中、町会役員の不参加が危惧されています。地域の皆さんには、今後予想されるこのような地域課題に対し、こんな地域にしたい・してほしい等のご意見を気軽に寄せいただき、共に地域づくりを進めてほしいと考えております。

また、町会連合会でも、平成21年度に各正副町会長、民生児童委員協議会、子ども会育成会などで組織された「岡田地区まちづくり委員会」をさらに充実させ、地域の課題を汲み上げる検討を進めてまいります。

行政としても、新たに設置しました「地域づくりセンター」が地域課題の解決に向けた支援を行い、安心して生活できるような地域としたいと考えておりますので、是非、皆さんのお力添えをお願いいたします。

**公民館主事が
替わりました**

4/1火



清水 哲治 主事
深澤さんから、清水哲治さん

公民館主事が、清水哲治さん(46才)に替りました。清水さんは昭和62年に入所しました。市行政に、30年近く携わっています。前任は「用地課」に5年在籍し、その折東区の道路用地を扱った程度で、地域と直にふれ合う業務は、初めてとのこと、少し不安を感じている様子でしたが、主事の「明るさと積極性」で、館活動に、期待する所です。

園長先生と児童センター長が替りました



田中 はるこ 先生
園に赴任された田中先生は、岡田生は、「岡田

園に赴任された田中先生は、「岡田の環境は素晴らしい、子供達もニコニコ笑顔で、人懐っこく、いい子たちばかりですね。地域ぐるみで保育園を支えて頂いていると感じています。」とのこと。保育園では、家庭的な雰囲気作り、子供達の体力面、精神面の成長ができるようにと、常に心を砕いてい

ました。高校生のお子さんが

住まいは、本郷地区大村で、幼稚園児の娘さん、奥様の三人家族です。休日は、高校野球観戦を楽しんでいるとのことです。(取材 大久保)

ごあいさつ

前任 深澤 勝彦
岡田地区の皆さんには、6年間、大変お世話になりました。はじめ、異動して来たとき「この地区は、何かが違う」と感じました。地区の皆さんが、生き生きとし、進んで事業等に参加していこうとする姿勢でした。そのおかげで公民館主事として仕事は何もせずただ地区の皆さんに情報の提供をするだけでした。多く

らっしゃいます。子供達のことろに寄り添い、成長を間近に見られる事が幸せであるという先生は、今年で保育士歴が40年目のこと。優しく、頼もしいまなざしで、毎日園児を見守って下さっています。



久保 愛 先生
岡田児童センターの館長として久保愛先生が赴任され

ました。高校生のお子さんが

の失敗にも激励とご協力を頂き事業を進めることができました。感謝申し上げます。

今年度から地域づくりセンターとなり、行政と住民が寄り添いながら地域づくりをしていこうとしています。しかし、岡田地区は、いまままでと変わらない「岡田スタイル」で地域づくりを進めていってほしいと思います。地域力の強さは、市内でもトップクラスだと自慢してもよいと思います。

これからも岡田地区の皆さんのこの心意気を大切にします。ますます発展していくことを願っています。本当にありがとうございました。

いるとはとても思えない澁刺とした笑顔のすてきな方です。「まず安全であること、そして、子供達の居場所づくり、家族以外に甘えられる場所があることを大切にしています。」とのこと。登録児童数は125名ほど。子供達の何気ない優しい一言に、いつも喜びとやりがいを感じているそうです。未就園児の為のつどいの広場や、大人のサークル活動などにも使われている同センターを、地域の方にもっと活用して頂きたいそうです。(取材 丸山)

